

平成29年度「住田航空奨励賞」受賞作決定

受賞作

杉本貴司 著「大空に賭けた男たち」（日本経済新聞出版社）

受賞理由

本著作は、二輪車メーカーとして出発したホンダが、なぜ空を目指したのか、どうやって高い壁を乗り越えたのか等、ジェット機参入を実現させた過程を描いたものである。国産旅客機の開発については、圧倒的に参入障壁が高い中で、現在戦後以来のリージョナルジェットの開発が進んでおり、航空関係者のみならず、社会一般にも関心の高いタイムリーな論点である。

特に、本著作は、実際に機体やエンジンを作った経験がないエンジニアがジェットエンジンと機体開発を同時に進める過程を、ホンダをはじめとする関係者に対する取材に基づき、登場人物の生のストーリーを再現しているほか、情景描写等も出来る限り一次資料等に基づいて生き生きと描いており、読む者を惹きこむものとなっている。

また、本著作は、航空機の技術的観点からも詳述していると共に、航空機開発では何が大事であるかを示唆する内容となっており、歴史的記録としての価値とともに、今後の航空機産業にとっても意義を有するものである。

このような諸点を考慮しつつ、当選考委員会としては、「大空に賭けた男たち」を今年度における「住田航空奨励賞」の受賞に相応しい著作として、高く評価するものである。